

## 法人設立 50 年の回顧



今年、元号が平成から令和となり、新しい時代がスタートいたしました。法人にとりましても設立 50 周年を迎える記念すべき年になりました。一口に 50 年と言いましても、私にはとても長い、長い道のりであったと感じています。川崎市当局をはじめ多くの皆様に支えられ今日があるわけでして、法人に係っていただきました全ての皆様に感謝してもしきれない思いであり、実に感慨無量であります。

思い起こせば、戦後の大変厳しい時代において幾多の困難を乗り越え、保育事業一筋に歩み、川崎市内の民間保育園の発展に努めてまいりました。

昭和 34 年に志を同じにする民間保育園 7 園で、現在の保育会の前身となる川崎市私立保育園連盟を設立し、昭和 44 年に同連盟加入 13 園でもって財団法人川崎市保育会を設立しました。

以来、保育会は川崎市内の民間保育園団体として、川崎市と連携しながら保育事業の推進に努めており、年々高まる市民の多様な保育需要に応えるため、公立保育園に先駆けて実施した長時間保育、延長保育、一時保育、夜間・休日保育などに取り組んできました。また、川崎市が進める保育計画の推進にも協力するとともに、乳幼児が心身ともに健やかに成長できる保育内容の提供及び職員の資質の向上を目指し、各種の研修を重ねてきました。

平成 9 年には待機児童対策の一環として「おなかま保育室事業」を川崎市から受託運営をしており、現在 5 ヲ所、定員合計 170 名の乳幼児をお預かりしております。

平成 25 年 4 月には保育事業の活動拠点として「かわさき保育会館」を開設し、同年 11 月に一般財団法人として認可され現在に至っております。

保育会には、現在、18 の社会福祉法人が加盟しており、平成 31 年 4 月には認可保育園 58 施設、小規模保育施設 11 施設の計 69 施設を数え、入所定員総数は 6,640 名、職員総数は約 1,600 名の法人に成長しました。

川崎市保育会は市内唯一の民間保育園団体として、今後も多様な保育ニーズに応え、地域全体の福祉の発展と乳幼児の健全な発育のための社会的使命を果たしてまいります。また、保育の質が問われている今日、川崎の保育の質の向上に市内民間保育所が一体となった研修に一層努力してまいり所存であります。

一般財団法人 川崎市保育会

理事長 **近藤 芳晴**